

学年	高校3年	教科	英語科	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4
教科書名	・ Revised POLESTAR Communication III			副教材名	・ 改訂版 POLESTAR Communication III ・ 新ユメタン1 ・ Jet Reading 英語速読テスト Level 3 ・ スタディサプリ ENGLISH		
クラス・コース	スポーツ			担当者名	今井 友也		

I. 目標

- 1) 3 学年時の基礎学力到達度テストにおいて長文問題の正答率 70%を目指す。
- 2) 卒業時までには実用英語検定準 2 級以上及び GTEC スコア 960 点以上 (CEFR B1~B2 以上) を目標とする。

II. 授業のねらい

- 1) まとまった英語を読み、限られた時間のなかで必要な情報や書き手の意向などを理解する能力を伸ばす。
- 2) パラグラフの構成をつかみ、スキミングやスキヤニングなどをできる能力を育成する。
- 3) 効果的な単語学習を促す。
- 4) 基礎学力到達度テスト、英検をはじめとする各種検定試験、入試において求められる英語リスニング力を、音読活動を併用して向上させる。音読の目標は 150~200WPM を目標とする。
- 5) 英文読解の技能面だけでなく、各単元に書かれているテーマについても考え、深めていく。

III. 授業の進め方

- 1) 単語学習の指導方法として、ユメタンを用いて、直近の単語テストの範囲の単語を発音させることで、必須英単語の定着を図る。単語の発音練習は、担当教員の主導のもと、毎時間授業の最初の 5~10 分間で実施する。単語によっては語源や、接頭辞、接尾辞を利用した覚え方などを指導する。
- 2) 2 学期は基礎学力到達度テストをはじめ、各試験をさらに見据え、英問英答の数を増加し、本文の言い換え表現や、ライティングの技能の向上も図る。
- 3) スタディサプリ English を導入し、基礎学力到達度テストをはじめとする各試験へのリスニング対策を行う。
- 4) スランブル英文法・語法 4th Edition を用いて、9 月に実施される基礎学力到達度テストの特に熟語 (イディオム) 問題への対応力をつける。
- 5) 接続詞やディスコースマーカーなどを有効に利用し、文のつながりを正確につかめるように意識させる。
- 6) it、them、one などの代名詞が何を指しているのか常に意識させる。

IV. 学習上の留意点

- 1) 未知の語の意味を前後の文脈から推測したり、背景となる知識を活用したりしながら読むよう指導をする。
- 2) 基礎学力到達度テストの対策として、頻出される熟語問題の対策として、小テスト及び定期試験においてスランブル英文法・語法 4th Edition のイディオム問題を試験範囲の一部とする。
- 3) 「スタディサプリ English」を活用し、リスニングの力を高め、定期考査にリスニングテストを含める。
- 4) 「Jet Reading 英語速読テスト Level 3」を授業外課題として使い、基礎学力到達度テスト等のリーディング

グ対策を行う。

V. 定期試験

- ① 教科書、副教材の指定範囲から出題する。
- ② 基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を数題出題する。
- ③ 授業で扱った箇所は、全体の6割程度出題する。
- ④ 初見問題(実力問題)を4割程度出題する。
- ⑤ リスニング問題が出題される。

VI. 評価の方法

- ① 定期試験、小テスト、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	①Lesson 1 『The future of Nursing-Care Robots』 ②Lesson 2 『Making English the Official Language in the Office』	<ul style="list-style-type: none"> ・ユメタン単語テスト ・スタディーサポート ・小テスト ・定期試験（中間・期末） 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力到達度テスト及び大学入学共通テストレベルの英単語を習得する。 ・言い換え語句などを有効に利用し、英文を読める力をつける。 ・毎単元の音読、Listening 問題を重視し、基礎学力到達度テストをはじめ、他の外部試験にも対応できるようにする。 ・上記に加え、ディスコースマーカーやパラグラフの構成をつかめるようになること。 ・英文を読み解く上で正しく因果関係をみつけることや、複数の事柄がどのような意図を持って、対比されているかなど読み取ることができる。 ・それぞれのパラグラフで述べられている主張やその根拠を読み取ることができる。 ・短い時間である程度の長さの英語の文章を読み、筆者の言いたいことを理解し、問題を解く上で必要な情報を見つけることができる。
	5	③Lesson 3 『An Appalling Waste of Food』 ④Lesson 4 『Mastering the Art of Living』		
	6	⑤Lesson 5 『Understanding Communication without Words』 ⑥Lesson 6 『How to Make Japan “Cool”』		
	7	⑦Lesson 7 『The Growth of Dictionaries in Japan』 ⑧Lesson 8 『Questions without Correct Answers』		

<p style="text-align: center;">二 学 期</p>	<p>9 10 11 12</p>	<p>⑨ 基礎学力到達度テスト 対策</p> <p>⑩ Lesson 9 『World Heritage Sites: Not Always a Good Idea?』</p> <p>⑪ Lesson 10 『Space Farming』</p> <p>⑫ Lesson 11 『The Art of Mnemonics』</p> <p>⑬ Lesson 12 『Why Your Brain Wants to Help One Child in Need-But Not Millions』</p>	<p>・小テスト ・定期試験（中間・期 末）</p>	<p>・スキミングを習得し、Key word をつかむ訓練を 積んで長文を効果的に読解できる力をつける。</p> <p>・毎単元の音読、Listening 問題を重視し、基礎学力 到達度テスト及び大学共通テストに対応でき るようにする。</p> <p>・上記に加え、スキミングを習得し、長文を効果 的に読解できる力をつける。</p>
<p style="text-align: center;">三 学 期</p>	<p>1 2 3</p>	<p>授業なし</p>		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。